

# 2021年3月期 決算説明補足資料

エンカレッジ・テクノロジー株式会社  
(証券コード：3682)

2021年5月14日



# 目次

1. 2021年3月期 決算概要

2. 2022年3月期 業績予想

3. 2022年3月期 重点施策

# 2021年3月期 決算概要



(百万円未満切捨て)

# 2021年3月期 決算概要

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減額	増減率	主要な変動要因
売上高	1,885	1,801	-83	-4.5%	次頁詳細
売上原価	704	618	-86	-12.3%	人件費を中心に 全体コスト減少
売上総利益	1,180	1,183	2	0.2%	-
販管費	1,000	1,019	18	1.8%	研究開発費増加 販売関連費用減少
営業利益	179	163	-16	-9.1%	-
経常利益	188	165	-23	-12.3%	-
当期純利益	113	138	24	21.7%	-

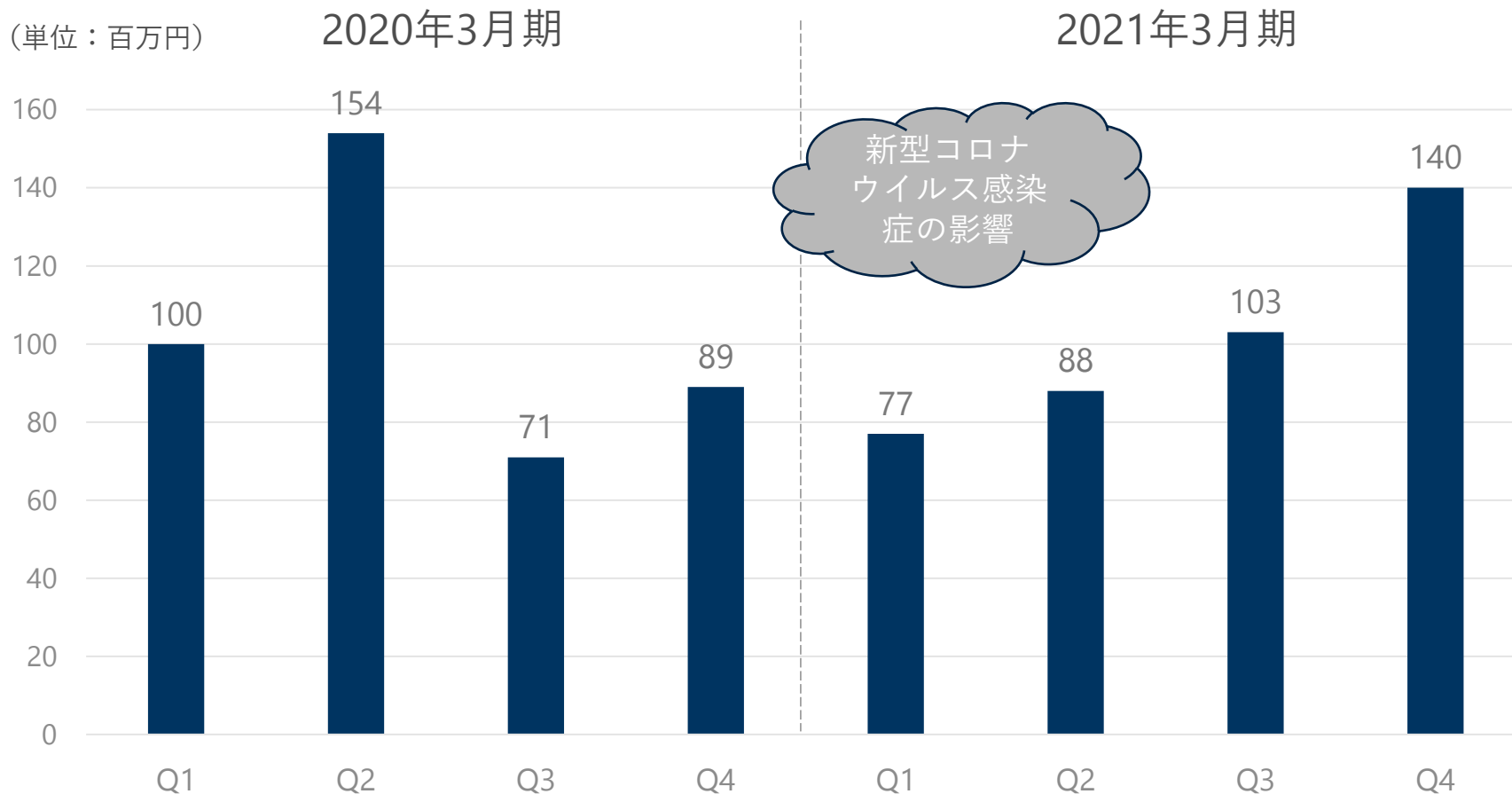
連結子会社であった株式会社アクロテックの清算手続きが完了し、連結決算から単体決算に移行いたしました。

# 売上構成の推移

(単位：百万円)

構成項目	2020年3月期	2021年3月期	増減額	増減率	主要な変動要因
ライセンス	416	409	-7	-1.7%	コロナ影響で上期遅延 下期は各四半期1億円超
保守サービス	1,116	1,136	20	1.8%	順調に推移
クラウドサービス	76	81	5	7.8%	順調に推移
コンサルティングサービス	177	109	-67	-38.3%	ライセンス減少影響 顧客訪問に制限発生
SIO常駐サービス	33	21	-11	-34.5%	サイト減少
その他	66	42	-23	-35.8%	-
<b>売上高合計</b>	<b>1,885</b>	<b>1,801</b>	<b>-83</b>	<b>-4.5%</b>	-

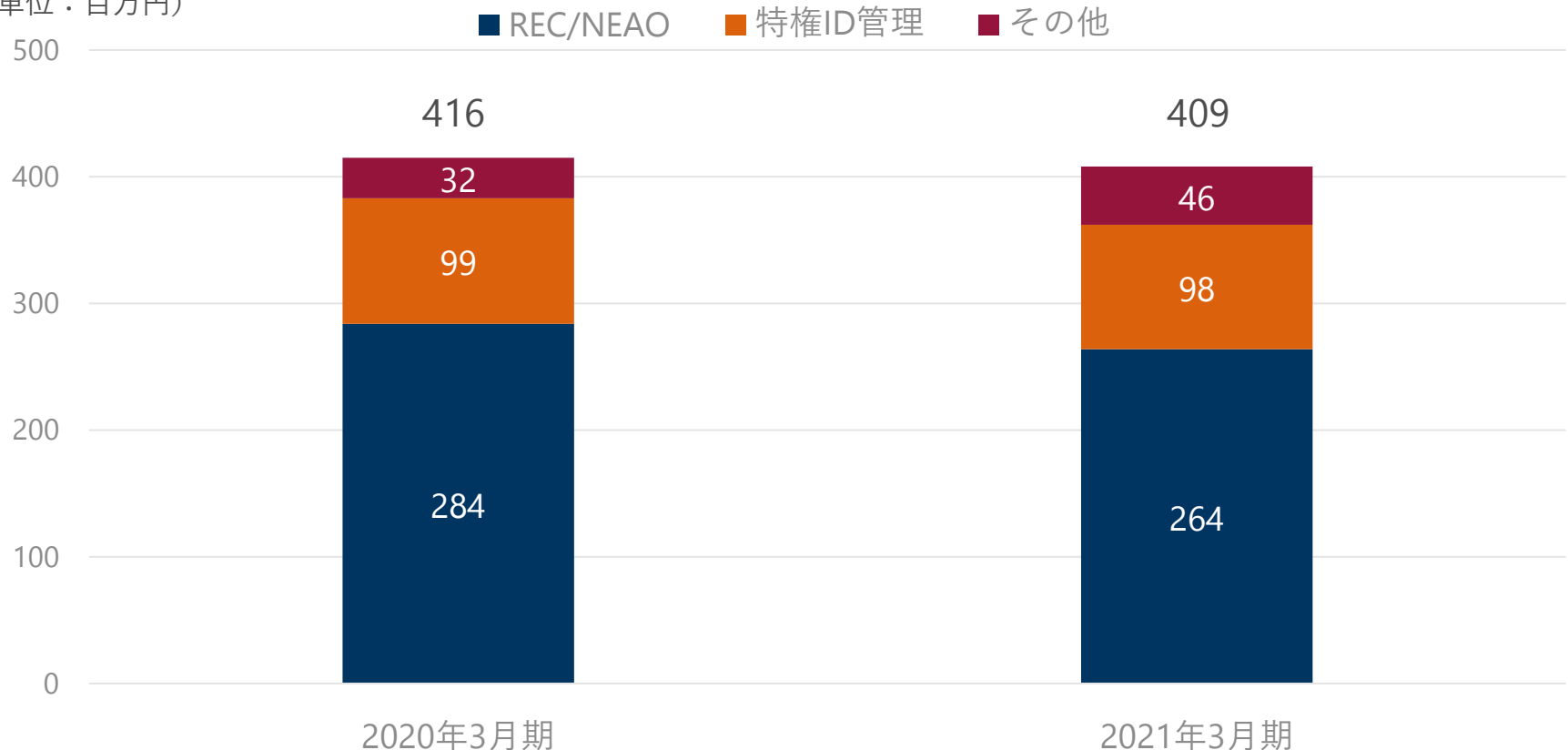
# ライセンス売上 過去2年の四半期推移



2021年3月期Q1~Q2は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、営業活動の制限等により商談の遅延が発生。2021年Q3より回復傾向。

# ライセンス売上 対前期比較

(単位：百万円)

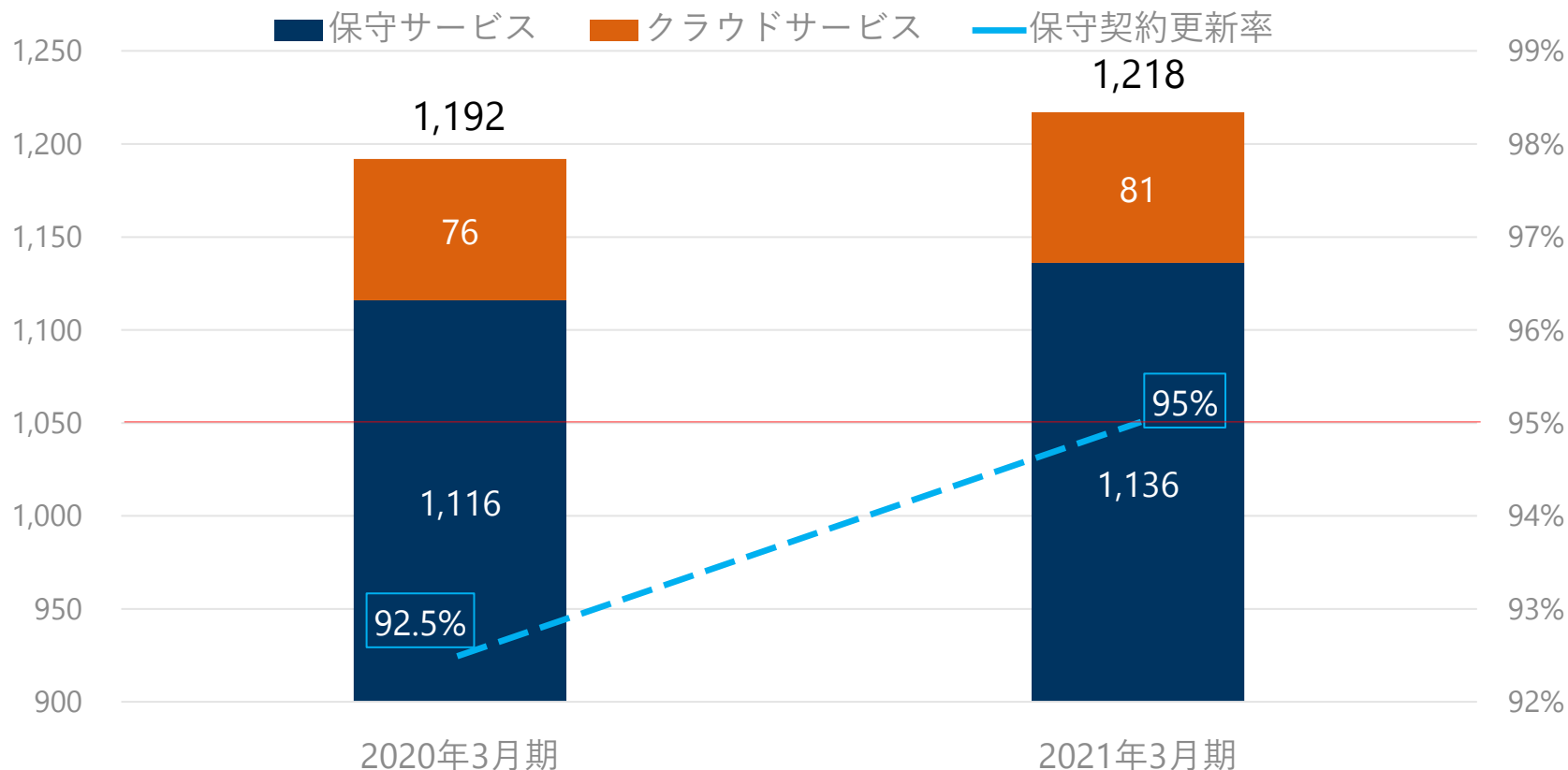


期中に新型コロナウイルス感染症の拡大による商談遅延等の影響があったものの、年間では、証跡管理（ESS REC/NEAO）、特権ID管理ともに善戦。

# ストック売上 対前期比較

(単位：百万円)

(保守契約更新率)



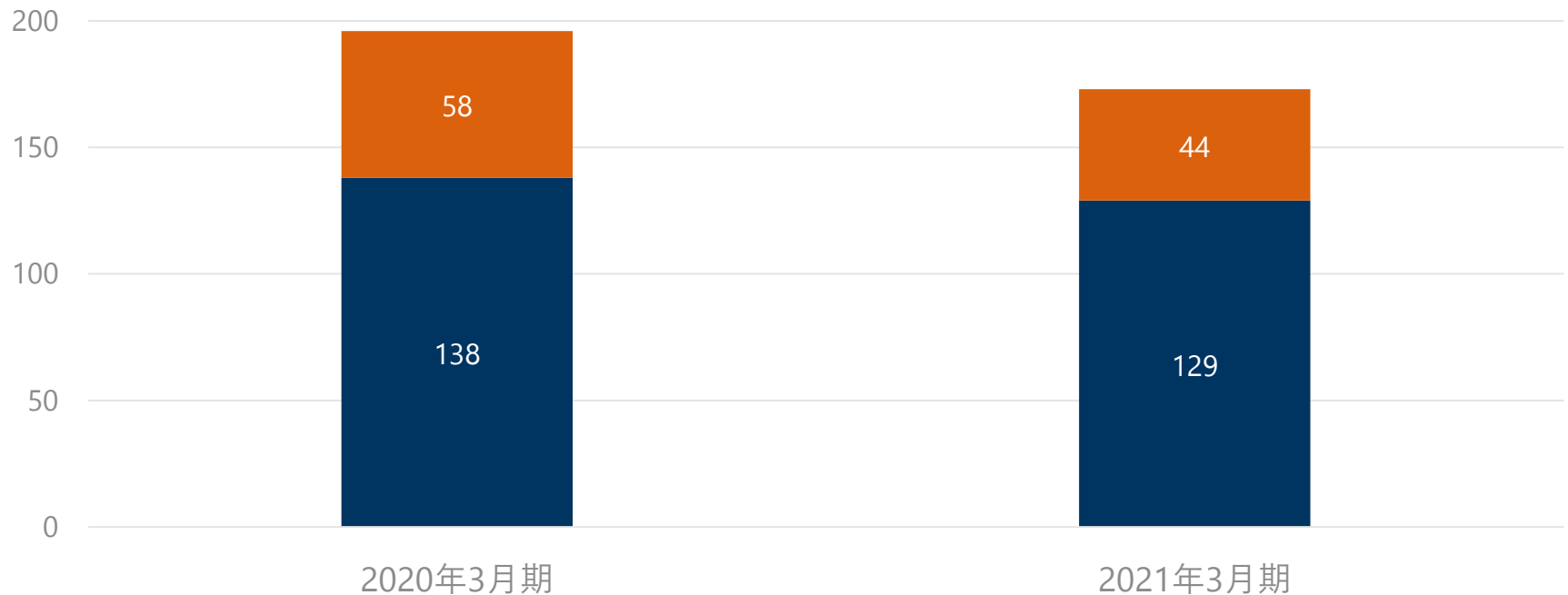
保守サービス、クラウドサービスともに売上が堅調に伸長。  
保守契約更新率は経営目標である95%に回復。



# 人員推移 対前期比較

(単位：人)

■ 社員（期末） ■ 協力社員（期中平均）



協力社員数（期中平均）はテスト自動化、作業標準化等の施策により大きく減少。社員の離職が減少（2019年3月期21名から2020年3月期16名）したことによりキャリア採用及び新卒採用も抑制（2019年3月期18名から2020年3月期8名）。

## 売上原価と販売費および一般管理費の状況

売上原価	86百万円	減少	(前年同期比)
販管費	18百万円	増加	

### 主な増減内訳

研究開発費の増加	75百万円
ソフトウェア償却費の減少	△ 15百万円
外注費の減少	△ 86百万円
人件費の増加	3百万円
採用・教育費の減少	△ 12百万円
広告宣伝費の減少	△ 13百万円
その他費用増減	△ 19百万円

コロナ影響による広告  
イベント等の費用抑制

# 貸借対照表概況

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減額
流動資産	3,285	3,545	260
固定資産	589	353	△235
総資産	3,874	3,899	24
負債	624	729	105
純資産	3,250	3,169	△80

流動資産と固定資産の増減の主要因は、子会社の清算による現金の受入と保有株式の消却によるもの。

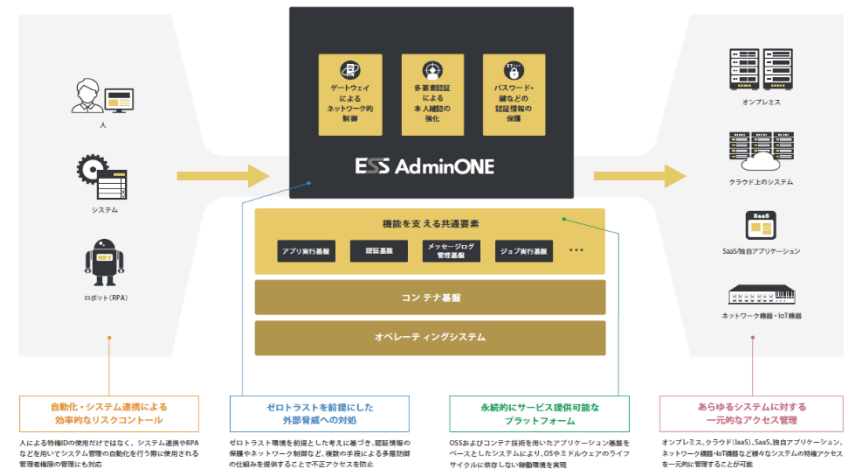
流動資産のうち、現金および預金は260百万円増加。

# その他トピックス

企業のDX推進を支援する次世代型特権ID管理ソフトウェア「ESS AdminONE」を2021年3月にリリースいたしました。

ゼロトラストを前提にした外部脅威へ有効に対処しながら、あらゆるシステムに対する一元的なアクセス管理を実現しています。API<sup>\*1</sup>を公開しているため外部システムとのデータ連携も柔軟に対応。

コンテナ技術を採用することにより、業界初の永久サポートを提供いたします。



(ESS AdminONEの主な特長とお客様のメリット)

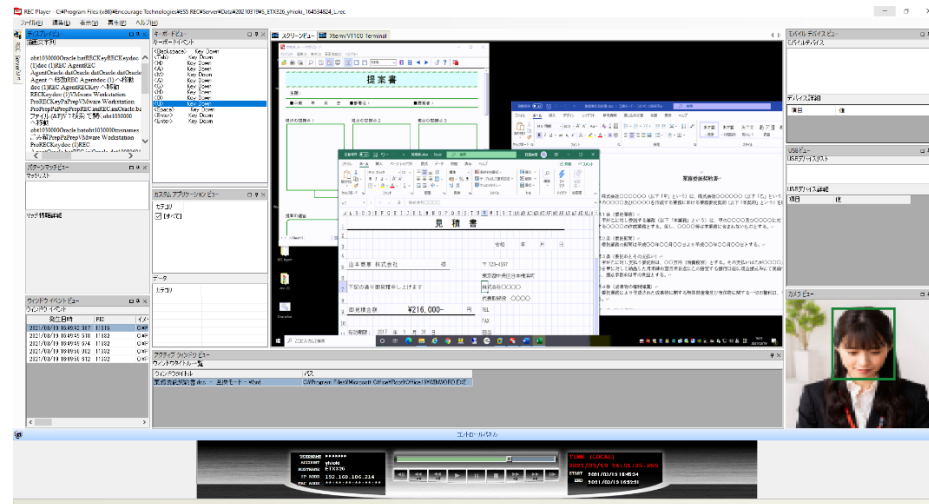
リリースからわずか1か月で10件のプロジェクトに採用されています。

\*1 API (Application Programming Interface)：人の操作を介さずにシステム間で直接命令の受け渡しを行い連携ができるようにするシステム専用インターフェイス

# その他トピックス

2021年3月、システム操作証跡監査ソリューション「ESS REC」および「ESS REC NEAO」に、AI技術（深層学習）による高精度の画像解析・顔認識技術を取り入れたカメラセンサーを搭載して、リリースいたしました。

特に、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として各企業がテレワーク導入を進める中、テレワーク環境下におけるセキュリティ向上を目的とした引き合いが増加しています。



(ESS REC/NEAOで取得した操作記録の再生画面)

これまで重要な情報を扱うことからこれまでテレワーク実現が叶わなかった業務などにおいても、セキュリティリスクを低減することで、企業の働き方改革実現に貢献しています。

# 2022年3月期 業績予想



# 2022年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 予想	増減額	増減率	主要な変動要因
売上高	1,801	2,100	299	16.6%	次頁詳細
売上原価	618	837	219	35.4%	人件費・償却費の増加見込
売上総利益	1,183	1,263	80	6.7%	-
販管費	1,019	1,013	-6	-0.6%	研究開発費減少 広告宣伝費等投資増加
営業利益	163	250	87	53.4%	-
経常利益	165	250	85	51.5%	-
当期純利益	138	170	32	23.2%	-

売上原価の増加は、新人事制度導入に伴う一時的な人件費の増加やソフトウェア償却費の増加を見込む。販管費は研究開発費が落ち着くものの、広告宣伝費など投資の増加により、ほぼ横ばいとなる見込み。

# 売上構成の推移

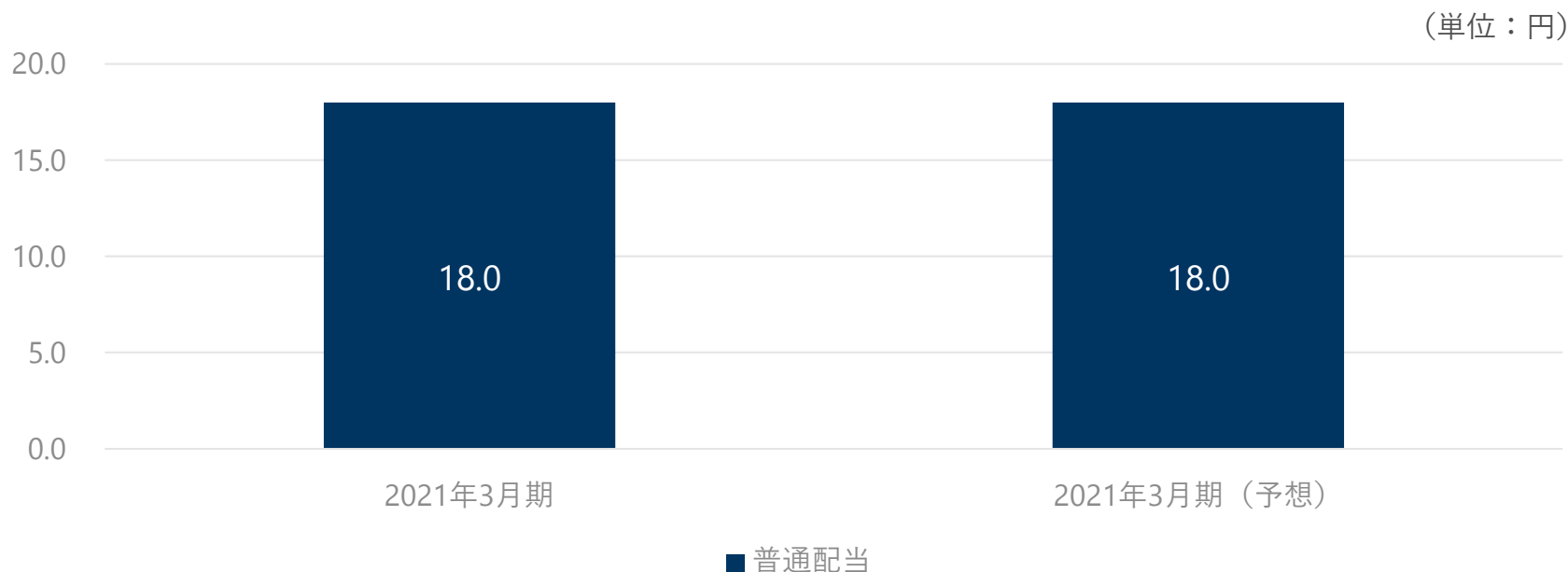
(単位：百万円)

構成項目	2021年3月期	2022年3月期	増減額	増減率
ライセンス	409	580	171	42%
保守サービス	1,136	1,185	49	4%
クラウドサービス	81	100	19	23%
コンサルティングサービス	109	174	65	60%
SIO常駐サービス	21	54	33	157%
その他	42	7	-35	-83%
<b>売上高合計</b>	<b>1,801</b>	<b>2,100</b>	<b>299</b>	<b>16.6%</b>



## 2022年3月期 配当予想

- 配当性向は33.3%以上とし、安定的かつ継続的な利益配分の方針
- 2022年3月期は1株当たり18円を予想（配当性向70.5%）



# 2022年3月期 重点施策



## 2022年3月期 重点施策

顧客ターゲット別の営業推進

ソリューション強化

新人事制度定着による生産性向上

# 顧客ターゲット別の営業推進

顧客ターゲット別にバーチャルな組織で戦略立案、PDCAマネジメント

アカウントセールス  
顧客深耕営業  
【直販営業】

BigDeal獲得  
(1社あたり売上拡大)

担当Pre-SE

担当Post-SE

インサイドセールス  
純新規開拓営業  
【直販営業】

顧客数拡大

担当Pre-SE

担当Post-SE

アカウントセールス  
ビジネス協業営業  
【代理店営業】

BigDeal獲得

担当Pre-SE

担当Post-SE

プリセールス部門

サポート部門

## ソリューション強化

### 商材／販売両面のソリューション強化による売上高UP

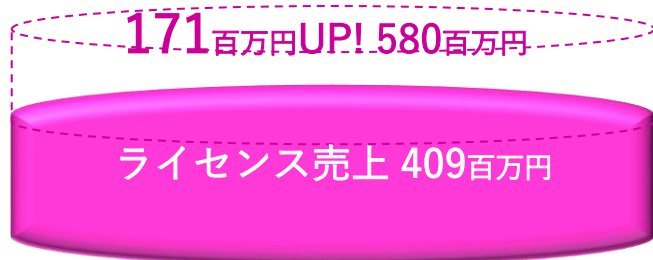
**REC**

- AI技術を活用した新機能の継続的追加 (REC)
- 柔軟なシステム連携のためのAPI開発 (ONE)

**ONE**

**NEAO**

- 次世代統合基盤への製品統合着手
- 運用業務自動化ソリューションの創出に向けた研究開発



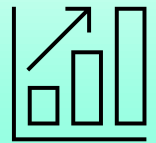
- クラウドサービス (IaaS) との連携による新サービス提供
- 他社製品とのAPI連携によるソリューション拡大 (ONE)
- 代理店による当社製品のクラウドサービス (SaaS) 提供

## 新人事制度定着による生産性向上

社員が自律的に働くことで生産性とモチベーション向上を目指す



- 職務記述書にもとづいた自律的な業務計画
- 計画に対する業務進捗（KGI、KPI）を正当・公平に評価
- 社員一人ひとりの進捗に合わせたマネジメント
- ローテーションによる最適なリソースシフト



## Encourage Smart life Style (ESS : エンカレッジスマートライフスタイル)

- 社会や社員のニーズに対応し、社員満足度の向上
- 週休3日や週6日勤務を可能とする柔軟な労働時間制度
- 育児・介護をはじめワークライフバランスの実現



## 将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは本書面の作成時点において取得可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。かかるリスクおよび不確実性により、実際の業績等はこれらの見通しや予想とは異なる結果となる可能性があります。

当社が事業環境の説明を行う上で、参考となる情報を掲載する場合があります。掲載データについては、調査方法や調査時期により結果が異なる可能性があります。

本資料に含まれる当社以外に関する情報は公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。